

船橋市内各駅で「国民平和行進」の宣伝実施

7月21日、国民平和大行進が船橋市に入りました。しかし、新型コロナウイルス感染が急拡大している中なので、残念ながらみんなが集まって歩く「平和行進」は断念せざるをえま



せんでした。その代わり、午前から市内の主要な駅頭での宣伝を実施しました（主催は実行委員会）。

高校生が飛び入りで平和を呼びかけ

午後3時から、参加者全員が集まってJR船橋駅の北口と南口でアピール宣伝を行いました。

約100カ国の参加で禁止条約会議

今回の国民平和行進の1カ月前には、オーストリアのウィーンで第1回目の「核兵器禁止条約」締約国会議が開かれました。当日の条約参加国（締約国）は65カ国で、アメリカと軍事同盟を結んでいるドイツやノルウェーを始め、締

約国以外の国も約30カ国がオブザーバーで参加しました。会議の最終日（6月23日）に「ウィーン宣言」と「行動計画」を採択。宣言は、「私たちは、最後の国が条約に参加し、最後の核弾頭が解体・破壊され、地球上から核兵器が完全に廃絶されるまで、休むことはないだろう」と力強く結んでいます。

繰り返すオスプレイの墜落事故を受け 日本共産党が防衛省に飛行停止を要請

6月8日、カリフォルニア州で米軍所属のオスプレイが墜落して、乗員5人全員が死亡しました。オスプレイは3

月18日にもノルウェーで訓練中に墜落。乗員4人全員が死亡する事故が起きたばかりです。相次ぐ墜落事故を受けて日本共産党千葉県委員会は6月13日、防衛省にたいして墜落事故の原因が判明するまで日本国内での自衛隊オスプレイの飛行を停止することや、米軍に飛行停止を要請することなどを求めました。

防衛省側は、今回の事故の原因はもちろんのこと、3月の事故原因も明らかにされていないことを認めながら、「アメリカが飛行停止にしていない。安全性は開発段階



バスで三番瀬リに行くには、JR船橋駅南口を出て「船橋海浜公園」行きに乗り、約30分。ただバス停が京成船橋駅前にあるため、JR船橋駅からわずかながら歩かなければならず、慣れていないと見つからない場合もあります。そこで、「三番瀬を守る会」が市に要請した結果、道路に案内標示ができたため、多くの方々に喜ばれています。

さいとう和子元衆院議員が参院選結果受け新たな決意

（左から）金沢・松崎・坂井・斎藤・丸山・金光・岩井各氏
7月12日・津田沼駅北口



7月12日、さいとう和子元衆院議員が津田沼駅北口で、参議院選挙の結果についての報告と、新たな決意を伝えるための宣伝を行いました。

今回の選挙で日本共産党は、東京選挙区で議席を維持したものの比例代表では5議席から3議席へと後退する結果となりました。

平和にとっても、暮らしと経済にとっても極めて大事な選挙だっただけに、残念でなりません。期待を寄せていただいた方々には、申し訳ない思いでいっぱいです。ただ選挙を通じて、とりわけ若い人たちとの新たな出会いがたくさんあって、一つ一つに未来への希望を感じます。

希望の種を集めてさらに広げ、憲法が生きる平和で豊かな社会をつくるために、さらに力をつくす決意です。



防衛省に要請する斉藤和子元衆院議員（前列左から3人目）と丸山慎一前県議（その右、金光理恵地区常任委員（前列左））

6月13日・国会内